

平成30年度の学校評価

本年度の重点目標	予測が難しい社会をたくましく生き抜く力の育成を目指す。基本的な生活習慣と学習習慣の確立を基礎とし、集団活動を通してマナーやルールの大切さを考えさせ遵守させるよう指導する。また、自らの個性に応じて主体的に目標を設定し、仲間と協働的に高校生活を創造する意欲や態度を養う。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導(教務部)	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善やそれを支える学習習慣のいっそうの定着 導入した校務支援システムの適切な運用と有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力」の育成を目指し、「主体的・対話的な学び」を保障する授業方法への改善の意識をいっそう高め、教科間連携の強化に努める。方策の一つとして予習→授業→復習の学習サイクルの習慣化を目指し、教科間で、学習課題に関する質や量、提出期日等の調整を行うなど、生徒が学習に取り組める環境整備に努め、家庭学習習慣を身に付けさせる。 校務支援システムの運用では、成績処理や調査書作成などにおいて効率的な活用をすすめ、業務の省力化も図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学習指導計画を基に、各学年における学習到達度の位置づけを明確化するとともに、段階的・継続的で、効果的な学習指導に努める。 校務支援システムの活用では、特に、個人情報の共有において、適切な管理・運用に関する意識を高揚する。
防災教育等(総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の充実 災害時における効果的な安否確認方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練時だけでなく、日常的に、危機に陥る箇所が他にはないか等を観察する視点の大切さを伝え、危機回避に関する意識の高揚を図る。 災害時の安否確認方法について、電話だけでなく、現実的かつ迅速な方法の確立を図るため、導入が可能な方法に関する情報収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の意義について深く理解させる取組を導入し、日常的に危機管理・安全意識を高揚する働きかけ等、防災教育の充実を図る。 電話を使った安否確認方法よりも、現実的に早く確認ができ、合わせて多くに情報が手に入れられるような方法を見出し、その導入に向けた課題の改善に努める。
生徒指導と生徒会活動(生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 社会性の育成 いじめ防止対策の推進 生徒会行事の自主的企画と運営 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみを整える、あいさつの励行、時間厳守(8時30分登校完了含む)、ルール遵守(交通安全含む)並びに場に応じた立ち居振る舞いができるように、継続的に適切な指導を行う。 いじめや嫌がらせに関しては、本校の「いじめ防止学校基本方針」に基づき、組織的に対応する。 生徒会の運営を支援し、自主自律した生徒の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の校門指導やホームルーム等のさまざまな指導の機会を捉え、組織的に、社会性を育成する指導を重ねる。生徒に対して個別指導をした際は、必ず、担任・学年・生徒指導部においてその情報を共有し、指導の公正さと適切さを検討する。特に、交通安全、スマートフォンの適切な使用、靴下の規定の遵守については、教員間の共通した認識・指導の基準づくりに努める。 「いじめや嫌がらせ・体罰に関する調査」の結果を基に、生徒の安心・安全を保障することを第一に対応する。 部活動との両立ができるような生徒会活動を考え、生徒会役員を務めやすい環境を整備する。また、行事後の教員及び生徒へのアンケート結果を活用し、行事の改善を図る。
進路指導(キャリア教育)(進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実と学習環境の整備 大学入試改革に向けた対策の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らの進路目標を早期に設定できるように、適切な情報提供に努める。進路講演会で生徒の職業観や勤労観を高めさせたり、補習や土曜学習会において学習意欲を高めたりするなど、行事を活用しながら、生徒の主体的な取組を支援する。 スタディーサポート結果を踏まえ、生徒の弱点分野や学習習慣における課題等を把握し、生徒自らその改善に取り組めるような学習環境の整備に努める。 大学入試改革について、その情報収集に努め、適切な対策を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の提供では、学年と連携し進路的な行事と関連付けるなど効果的な方策を工夫する。 スタディーサポート結果については、教員及び生徒に向けて報告会を実施し、学習習慣の見直しやキャリア教育の一助として活用する。 大学入試改革について、講演会やその研究会等へ参加し、多面的多角的な視点の情報収集に努める。
安全教育・環境美化(保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察の徹底及び傷病発生防止 教育相談体制の充実 校内清掃の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」において、傷病予防等を扱い、注意喚起する。 HR担任による健康観察の徹底を図るとともに、生徒の些細な異変に気付いたら、学年会、教科会、校務委員会などでその生徒情報・状況を共有する。 全校集会などを通して、生徒に清掃の徹底を促すとともに、各清掃担当教員の清掃指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」の作成では、生徒保健委員を参加させ、生徒の意識の高揚を図る。 教育相談においては、生徒の状況情報の収集と教員間でその共有を密に行い、適切に対応する。その際、個人情報の取扱には十分留意する。 清掃道具のチェックなど、清掃道具の十分な確保に努めるとともに、清掃場所の適切な清掃方法についての伝達に努める。
図書管理・情報管理(情報研修部)	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書データの入力体制の強化とNoahによる蔵書管理の推進 ホームページのリニューアル及びその適切な管理・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 教員及び生徒図書委員が協力・分担して、図書原簿の電子データ化を図るとともに、Noahによる蔵書管理体制の構築を図る。 現行ホームページのシステムについては、適切に引継ぎを行う。新ホームページがスマートフォンからアクセスが可能であることを保護者にも周知し、有効な運用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子データ化に際して、作業方法やその時期(保護者会期間中の活用)などを吟味しながら、作業の進捗状況等について教員間で共有に努める。また、新たに問題点が生じた場合についても教員間で情報を共有し、改善に努める。 ホームページにアップする内容については複数の目で確認するとともに、手続きについては簡素化を図る。リニューアル後は、スマートフォンからアクセスが可能になるが、新たな問題が発生した際は、適宜その改善に努める。行事レポートや部活動の情報をブログ形式でこまめに発信し、本校の教育活動を積極的にアピールする。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組(いじめ不登校委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 組織的ないじめの未然防止や早期発見の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 全ての教員が、いじめに対する共通理解をもち、適切に対応できる力を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の言動がいじめを助長することがないように、指導の在り方に細心の注意を払う。
勤務時間の適正な管理と多忙化解消(管理職)	<ul style="list-style-type: none"> 業務の適正化と効率化 メリハリを付けた働き方 	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況記録を活用して業務の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの保持に努める。 業務内容の点検及び精選を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が気軽に相談や情報交換できる職場の雰囲気づくり。 校務支援システムの効果的活用。 考査期間を定時退校日とする。
長時間労働による健康障害防止(安全衛生委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な業務遂行の奨励と環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況記録から、1ヶ月の時間外労働が80時間を越える教職員について、面接指導希望の有無を確認し、健康障害防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の年次休暇の計画的な取得を促進する。 学校施設時間を設定する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立と、主体的・協働的で深い学習が展開されるための授業改善について(学習指導) 効果的な安否確認方法の確立と、防災教育の充実について(防災教育) 主体的に目標を設定し、自らの進路を選択決定する態度の育成について(進路指導) 		